

最優秀賞を受賞してもらった花束を持つ中山茜さん
＝鹿児島市吉野1丁目のはなのゆ薬局



「薬局アワード」最優秀

全国の薬局の取り組みを表彰する「薬局アワード」(薬局支援協会主催)で、鹿児島市吉野1丁目の「はなのゆ薬局」が最優秀賞を受賞した。健康イベントの開催や地域に根付いた取り組みが評価された。

地域密着の活動評価 はなのゆ薬局

大会は薬局の創意工夫を広く伝えることを目的に、全国から薬局を募集し、プレゼンテーションを経て医療関係者や一般の人が審査する。患者視点の業務や取り組みへの思いが基準となる。2017年に始まり、4回目の今年オンラインで10月25日に開催した。今年14薬局から応募があった。

はなのゆ薬局は18年に薬剤師の中山茜さん(42)が開設した。薬剤師は中山さん1人で、事務職員3人と一緒に切り盛りしている。

大会運営関係者に誘われて参加した中山さんは、地域に密着した取り組みをアピールした。同じ建物内にある

温泉施設の客向けに定期的に健康教室を開くほか、地域の学校で講話をしたり、近隣の福祉施設や保育園に健康情報をファクスで流したりする活動を紹介。審査では薬剤師1人で活動する点も評価された。

会員制交流サイト(SNS)でイベントや健康情報も発信する。薬局を利用するヘルパー内園千恵子さん(76)は「薬剤師や事務の人がフレンドリーで相談しやすい。公式ラ

インに登録して情報がよく見ている」と話す。中山さんは「受賞したときは『わっ』と声が出るほど驚いた。地域の人や医療関係者に支えられた結果」と喜びをかみしめた。

(佐藤鈴奈)